

シナリオチェックリスト

～画像マッチング・IE関連編～

✓**チェックタイミング**

作成前：事前に認識すべき知識・規約や、
業務手順と併せて調査すべき内容

作成中：ノードやライブラリと操作対象画面を照合し、
作成工程中に確認できる内容

No	分類	チェック タイミング	内容	補足
1	画像 マッチング	作成前	マッチ率を推奨（80～90%）に設定する	
2		作成中	マッチング画像の赤枠指定箇所は一意のものにする	
3		作成中	マッチング対象が画面上に表示されていること	
4		作成中	マッチング箇所（赤枠）に余分な範囲を含めないこと	<div><div></div><div>良い例</div><div></div><div>悪い例</div></div>
5		作成中	画面サイズや拡大率を作成時と同じにする動作をシナリオに組み込む （マッチング画像とシナリオ実行時の画面サイズ、表示倍率が同じであること）	例：画像マッチングの対象であるウィンドウに対して、 11_ウィンドウ関連「ウィンドウの表示変更」の使用や エミュレーションで表示倍率を100% （ctrl+0）にする処理を入れる
6		作成中	シナリオ実行中に別のアプリケーション通知でマッチング箇所が隠れないようにする	
7		作成後	マッチング画像に個人情報がある場合はマスクする	マッチング画像として指定した領域をマスクすると、正常に画像認識されないため、マッチング画像とマスク範囲は重ならないように配置すること
8	IE関連	作成前	ウィンドウ識別名が可変でないか確認	ウィンドウ識別名に氏名や固有のID、日付などが入っている場合は注意 可変の場合はウィンドウ識別ルールから可変でも対応できるように設定すること
9		作成前	画面遷移に遅延が発生しないか確認	遅延が発生する場合 画面遷移が完了するまで待機処理を入れること
10		作成前	ウェブ上からファイルをダウンロードする際にはタイムアウトが起きないか確認	ダウンロードに時間が掛かる場合は ダウンロードが完了するまで待機処理を入れること
11		作成前	自動記録アクションライブラリを使用できるか確認	
12		作成中	下記の優先順位でノードやライブラリを使用しているか確認 ①自動記録アクション（IE,WIN32） ②①以外のライブラリ、プチライブラリ/スイートライブラリ ③ノード ④エミュレーション/画像マッチング ※作成前調査にて「自動記録アクション」のライブラリが使用できないと判断できた場合は②～④の優先順位で使用されているか確認すること。	安定性の高いシナリオ作成とするため。 対象箇所ごとに確認すること。
13		作成中	tag indexが可変でないか確認	index番号が可変の場合、 プロパティ画面の詳細設定の「name」や「id」によって一意に特定が可能なならば、 「tag index」のチェックを外して対応。 上記対応が不可の場合、他のノードやライブラリで対応。
14		作成中	テキスト欄に値を設定した際に、入力欄のフォーカスがずれないか確認	例：システムに日付を設定後、フォーカスが一番上の入力欄へ移動してしまう画面など